

支援ネット会員各位

月例情報市場等 報告

201312

10月の月例情報市場のご報告をいたします。よろしくお願いいたします。

■活動報告 ■後記



■活動報告

□情報市場を開催しました

平成 25 年 10 月 16 日（水）、月例情報市場が行われました。

今回の参加者

長野県みらい基金 松岡さん、小布施町議 山岸さん、支援ネット 込山、事務局

松岡 市民公益活動センター長のときにも来ています。今年の春から、中間支援組織 NPO 法人長野県みらい基金の事務局長をしています。

公共的活動応援サイト 長野みらいベース

<http://www.mirai-kikin.or.jp/>

やはり、社会的活動を進めていくには、資金・人材難が課題です。これは、寄付を集めて助成する基金として、県の政策として始めたものです。

民間企業との交わりを増やしたいので、また定期的に参加したいと思います。

山岸 小布施で若者が関わるまちづくりをしています。先月青年会議所の CPS 交流会で込山さんと同じテーブルだったので、今回参加しました。他の市町村などの活動も学びたいと思います。

松岡 以前広告会社で働いており、退職後、県 NPO センターに入り、今は理事をしています。NPO のために働く NPO で、12 年目です。

10年前、NPOの資金調達の課題にむけて、NPO夢バンクをつくりました。お金を貸します。みらい基金は、今は県庁の中にあります。県元気づくり支援金や市のまちづくり補助金など、いろいろとありますが、**寄付することで社会が良くなる**ことを理論立てて説明したいです。民間とNPO、民間と公共的活動団体をお金という媒体でつなげる活動です。

山岸 ハードもですが、まちづくりにはソフトが大事と思い、若者会議など、若者の意見を取り上げたいと思って活動しています。

込山 ボランティアはそもそも自主的な活動です。**やらされ感ではなく、わくわく感**が大事だと思います。

無理やり作った組織は、壊れるのも早いので、強いリーダーシップを持ちながら、組織を育てていくという姿勢が、物事をつなげるキーワードではないでしょうか？

松岡 個人から組織へ移していかないと、事業の発展に限界が出てきます。

一人でなく組織で動くことを考えていくのも大切ではないでしょうか。

私たちは、基金・人材のネットワークづくりのため、上田、松本、東京に拠点をつくっています。また、個人～企業～NPOといった、横軸と縦軸でネットワークを広げていきたいと思っています。

私たちはターゲットが組織化したNPO団体。支援ネットはボランティア活動団体というところが少し違いますが、支援については、**ガラス張りのしくみ**であることが大切ですよね。

山岸 まちづくり活動では、人や情報が不可欠です。次世代を育てたくて、大学生や主婦の方にも関わっていただいています。**社会人の力を借りたい**です。

また、他市町村の成功事例とかも聞かせていただきたいですし、いろいろな場所で、一流の方々と出会いたいと思います。

事務局 松岡さんのご意見をお聞きしたいですが…。

松岡 一流、ですか。山岸さんの一流の基準も聞いてみなければなりませんが、私は、本当に**一流の人というのは、現場をよく知っている人だと思う**んですよ。苦労話に重みがある。仕切っていける、ということです。

お金があるからまちづくりをする、という町は廃れます。肩書きではなく、裏方の話をたくさん聞いてみてください。

山岸 ありがとうございます。

込山 皆さんお互いに、人を「集める」ではなく、**人が「集まる」**ことをしたいですね。

ありがとうございました。

■後記

今回は、人数は少なかったですが、非常に濃い時間となりました。

レポートが遅くなりましたことをお詫びいたします。(な)

以上